



敬愛

令和3年9月22日

文責 輿石 信

第10号



「敷島中ホームページ」へ

「SDGs」を知っていますか？



9月も下旬にさしかかり気候的にもだいぶ過ごしやすくなりました。何をするのにも良い季節です。

さて、8/26の始業式で、「2学期は一人一人が成長するチャンスとなる時期であり、多くのチャレンジを通して、自分自身を大きく成長させてほしい」という話をしました。チャレンジとは、未知との出会いであり、新しい考え方との出会いでもあります。

○ SDGsを知っていますか？

最近、よく耳にする言葉の一つに「SDGs」という言葉があります。皆さんも聞いたことがあると思います。「SDGs」とは、Sustainable Development Goalsの略で、日本語に訳すと、「持続可能な開発目標」となります。これは国連に加盟する193のすべての国々が「未来の世界・地球がこうなしてほしい」という思いを込めて作り上げた、今、取り組むべき世界的規模の課題で、2030年を達成期限にしています。内容は、17のゴール(大目標)とその下にある169のターゲット(小目標)からなっています。

○ 17のゴール(大目標)とは

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 貧困をなくそう | 9 産業と技術革新の基盤をつくろう |
| 2 飢餓をゼロに | 10 人や国の不平等をなくそう |
| 3 すべての人に健康と福祉を | 11 住み続けられるまちづくりを |
| 4 質の高い教育をみんなに | 12 つくる責任 つかう責任 |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう | 13 気候変動に具体的な対策を |
| 6 安全な水とトイレを世界中に | 14 海の豊かさを守ろう |
| 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 15 陸の豊かさも守ろう |
| 8 働きがいも経済成長も | 16 平和と公正をすべての人に |
| | 17 パートナーシップで目標を達成しよう |



○ SDGsが目指すもの

現在の世界は、貧困、人種差別、環境破壊など、様々な問題に直面しています。こうした地球規模の問題を解決するために「誰一人取り残さない」という理念のもと、SDGsの17のゴールは作られました。弱い人を踏みつけにして取り残したり、自分たちだけが先に進んでしまうことなく、立場が違っていても、お互いを理解し、共に歩んでいく。そして、誰もが差別なく、世界中の人々が「みんな幸せな世界」を実現していくことを目指しています。

○ SDGsは誰もが取り組めるもの！ 既に取り組んでいる？

「全世界的な規模の課題なんて大きすぎて自分一人では何もできない」と思う人もいるかもしれませんが、SDGsは、誰もが取り組めるものですし、小さなことを多くの人に取り組むことが大切なことです。毎日の生活の中であなたが行っていることがSDGs目標達成のための行動となっているものもあります。例えば、毎日給食を残さず食べている人は、ターゲット2の「飢餓をゼロに」やターゲット12の「つくる責任 つかう責任」につながります。

○ 2030年の社会の主役はみなさんです！

SDGsのゴールとなる2030年に皆さんは20代半ばを迎えます。まさに社会の主役となる年代です。10年後の社会の創り手として、中学校年代の今、SDGsに関心を持ち、できることを考え行動に移すことが、あなたにとっても、世界中のどこの国の人にとっても過ごしやすい社会の実現につながります。そして、SDGsについて考えることは、あなたの物の見方・考え方、視野を広げることにもなると思います。

図書室にも、SDGs関係の本が何冊もあるので、ぜひ、興味のある生徒は手に取ってみてください。

